

平成23年6月7日

信用金庫業界を挙げて 「東日本大震災2千円募金」を実施

社団法人 全国信用金庫協会

このたびの東日本大震災により、被害を受けられた皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。

社団法人 全国信用金庫協会（会長：大前孝治・城北信用金庫理事長）では、全国の信用金庫および関係団体等の役職員約12万人に呼びかけ、「東日本大震災2千円募金」を実施いたしました。その結果、募金総額は**3億7,340万円**となりました。

今回寄せられた信用金庫業界役職員からの募金は、被災地域の地方公共団体に寄贈し、被災地域の方々の支援活動に役立てていただくこととしております。

相互扶助を経営理念とし、地域とともに歩む私ども信用金庫業界では、東日本大震災で被災された方々のために、救援物資の配送、避難先での預金代理払い、全国の皆さまからの義援金のお取扱いをはじめ、様々な支援活動に取り組んでおります。今回の募金活動も、信用金庫業界の役職員一同が、被災地域の一日も早い復旧、復興を願い、被災地域の方々の支援させていただくために実施したものです。

今後とも、地域の皆さまや中小企業のために、全力を尽くして参る所存ですので、信用金庫に対するご理解、ご支援を賜われますよう、よろしく願いいたします。

【信用金庫業界役職員「東日本大震災2千円募金」の概要】

- 募金対象者・・・全国271の信用金庫、関係団体等の全役職員（約12万人）
- 募金額・・・一口千円（二口以上の募金を呼びかけ）
- 募金総額・・・3億7,340万円
- 募金寄贈先・・・被災地域の地方公共団体へ直接寄贈

以上

本件に関する問合せ先

社団法人 全国信用金庫協会

○総務部 岡林、高橋（電話：03-3517-5711）

○広報部 小西、服部（電話：03-3517-5722）

<ご参考>

平成23年6月7日

東日本大震災に係る信用金庫業界の対応

社団法人 全国信用金庫協会

信用金庫業界では、被災された地域の一日も早い復旧、復興を願い、被災地域の方々を支援させていただくために、救援物資の配送、避難先での預金の代理払いをはじめ、様々な活動を行っておりますが、その取組みの一部についてご紹介させていただきます。

【被災地域への支援】

○東日本大震災2千円募金（本日付公表資料）

全国271の信用金庫、関係団体等の役職員約12万人に呼びかけ、「2千円募金」（一口千円、二口以上の募金を呼びかけ）を実施。

信用金庫業界役職員から寄せられた募金総額は、3億7,340万円。同募金は、被災地域の地方公共団体に寄贈し、被災地域の方々の支援活動に役立てていただくこととしている。

○東日本大震災義援金

全国271信用金庫、約7600店舗の窓口で、3月15日から義援金の取り扱いを開始（日本赤十字社を通じて被災地に寄贈）。

お客さまからお預かりした善意の義援金が30億円を超えたのを機に、5月16日には、全信協・大前会長が日本赤十字社を訪問し、同社近衛社長に、30億円を贈呈。

その後、義援金の累計は、5月末現在で約38億円となっている（同義援金の取扱いは9月30日まで）。

○しんきん「地域応援」キャンペーン

6月15日の「信用金庫の日」（本年は信用金庫法制定60周年）に因んで、本年6月中に実施する、「しんきん『地域応援』キャンペーン」において、オープン懸賞（クイズ・アンケート）を実施。応募件数に応じて（件数×10円）、あしなが育英会の「東日本大地震・津波遺児募金」に寄付を実施。

【被災地域の信用金庫への支援】

○東日本大震災 支援見舞金（特別分担金）

全国271の信用金庫、関係団体等に呼びかけ、東日本大震災で被害を受けた信用金庫に対する支援見舞金を募集。

支援見舞金総額は、12億5,790万1千円となり、被災地域の地区信用金庫協会と協議し、当該見舞金を被災状況に応じ、個別信用金庫等に寄贈。

以 上